

別海高等学校における学校運営協議会の取組と成果

■ 主な取組

○ 学校運営協議会の開催

年2回開催し、①学校運営の基本方針の承認や年間の活動計画の決定、②地域連携に関する検討、③各部会の活動についての情報交換、④視察研修の実施のほか、⑤当該年度の取組状況に対する自己評価、⑥次年度の基本方針・活動計画の協議、⑦協議会の活動状況の公開などについて協議する。

○ 学校関係者評価の実施

第2回学校運営協議会において、学校運営に関する点検評価を実施する。なお、本評価は学校評価における学校関係者評価として位置付けられている。

○ 「学習」、「生活」、「進路」、「健康教育」、「農業教育」の5部会を設置

各部会において、様々な教育活動を企画し、実施に当たっては、活動の運営を行う。

部 会	企画・運営する活動
学 習 部 会	① 地域外部講師による進路講話の開催（年3回） ② 教育課程、道徳教育及び特別活動の全体計画の確認 ③ 高校生が小学校を訪問し、児童に対する学習の助言や悩み相談などを行う「学習支援サポート」を実施（年2回）
生 活 部 会	① 民間の通信業者を講師とした「携帯電話使用教室」の開催（年1回） ② 中標津警察署等と連携した「交通安全街頭啓発活動」の実施（95名参加） ③ 部会の委員、保護者、教員が合同で町内を巡視（祭典時等）
進 路 部 会	① 北海学園大学の大学訪問及び大学教授による講演等を開催（生徒13名参加） ② 中小企業家同友会別海支部への新規求人枠拡大を要請（随時） ③ 部会の委員による模擬面接指導（延べ35名の生徒に対して実施） ④ 部会の委員がインターンシップ受入事業所を訪問し、生徒の活動状況を視察（延べ27か所）
健康教育部会	① 生徒の健康状態を把握するため、町内の保健師と全中学校、高校の養護教諭の懇談会の開催（年2回） ② 3年生及び受診を進められた1、2年生を対象に保健師が健康相談を行う「ミニ人間ドック」の開催（年1回） ③ 健康や命の大切を知り、他者や社会とのかかわりを踏まえて、自己の在り方・生き方について考える「生と性を考える講演会」の開催（年1回） ④ 消費者としての責任や、一消費者として被害に遭わないための知識等を学ぶための「消費者被害防止教室」の開催（1年生95名の生徒が参加）
農業教育部会	① 別海町酪農研修牧場等での実習体験協力（延べ70名の生徒が参加） ② 別海町行事への参加協力（3行事に酪農経営科生徒延べ106名参加）

■ 主な成果（関連する指標）

		H18	H23	H26
インターンシ ップの実施状況	普通科	22.1%	40.8%	23.3%
	酪農経営科	65.0%	100%	100%
進路状況	就職内定率（希望者に対する割合）	89.8%	97.5%	100%
	進学者数（うち国公立大の数）	120名（6名）	74名（10名）	67名（4名）
	（参考）3学年在籍者数	154名	122名	105名
委員による面接指導（H24から実施）		—	—	35名
酪農家による実習体験（H19から対象学年を拡大）		延べ14名	延べ78名	延べ70名